

親愛なるお客様へ

梅雨の明けが待ち遠しい今日この頃ですが、お客様におかれましてはますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

5月23日から24日に渡り、『カスタマー・シンポジウム 2023』を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まって初めての開催となり、多くの皆様にご参加頂きました。直接皆様とお会いできたこと、貴重なご意見を聞けましたことを何より嬉しく思っております。改めてご参加頂いた皆様に感謝申し上げます。

また2年に一度の顧客満足度アンケートを実施しております。より良い製品・サービスをお届けできるよう改善に努めてまいりますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

エアバス・ヘリコプターズは中国のGDAT社とH160ヘリコプター50機の契約を締結いたしました。H160ヘリコプターはエアバスの革新技術が集結された最新のマルチロールヘリコプターで、これからさらに世界中の空での活躍が期待されます。

このH160向けにエアバス・ヘリコプターズ・ジャパンはAnti-Collision Lightを開発し国土交通省航空局とEASAよりSTC認証を取得いたしました。エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンはアジアのエンジニアリングハブとして国内で開発された装備品を世界に展開する取り組みを強化してまいります。

最後に、このたび令和5年6月30日をもちまして、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社 最高執行責任者・社長を辞任し、エアバス・ヘリコプターズ・メキシコの代表に就任することとなりました。在任中に賜りましたご厚情に改めて深甚の感謝を申し上げます。なお、後任にはジャン＝ルック・アルフォンシが就任いたしますので、何卒お引き立てくださいますようよろしくお願い申し上げます。

季節の変わり目ですので、どうか皆様お元気でお過ごしくださいませ。貴社のさらなるご発展と安全を心よりお祈り申し上げます。

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社
最高執行責任者・社長 **ギヨム・ルプランス**



CONTENTS

インフォメーション / INFORMATION

カスタマー・シンポジウム 2023

2023年顧客満足度アンケートのお願い

エアバスグループのCSR活動

サービス / SERVICE

H135向けサービス・ブリテン(SB)のキャンペーン

製品 / PRODUCT

中国のGDAT社がH160ヘリコプター50機を契約

VSR700、フル稼働構成で海上テスト実施

H160向けAnti-Collision LightのSTC、EASA認証取得

訓練 / TRAINING

HELISIM社H160フルフライトシミュレーター(FFS)

レベルD JCAB認証を取得

2023年度設定訓練コース

航空安全 / AVIATION SAFETY

1. 安全推進活動

2. ヘリコプターの安全情報

ご意見募集中

カスタマー・シンポジウム 2023

5月23日～24日の2日間に渡り、第6回目となる『カスタマー・シンポジウム 2023』を開催しました。ご参加頂きましたお客様に、改めて厚くお礼申し上げます。会場は東京ミッドタウンカンファレンスにて、約100名の方にご参加頂きました。カスタマー・シンポジウムは2年に1度開催され、お客様に製品、サポート&サービス、技術、航空安全、サステナビリティなどについて最新情報をご案内しております。また、今年は、各機種の技術アップデートに加え、各ワークショップ(サポートエンジニアリング、テクニカルデータ、コネクテッドサービス、訓練)を行い、ご参加頂いた皆様から理解度が深まったと大変ご好評を頂戴しました。

カスタマー・シンポジウムは、私たちにとってもお客様と実際にお会いして、お客様のご要望や直面している問題などを直接お聞きできる大変貴重な機会と捉えています。お客様が安全で効率よく機体の運航ができるよう、今後とも最良のソリューション、そしてより良いサポートを提供して参ります。

次回は2025年の開催を予定しております。多くのお客様のご参加をお待ちしております。

2023年顧客満足度アンケートのお願い

既に各お客様のご担当者様にはご依頼させていただいておりますが、5月9日より2年に1度、全世界で実施する顧客満足度アンケートを開始いたしました。エアバス・ヘリコプターズでは、お客様のご意見をもとに、製品・サービスの改善を継続しております。より良い製品・サービスをご提供するため、是非アンケートへの回答のご協力を宜しくお願い致します。回答期間は7月31日までとなります。

エアバスグループのCSR活動

エアバスグループは、世界、そして地域社会の一員としての責任を認識し、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)にコミットしております。日本においては、2022年CSR委員会を発足し、これまで、地域貢献および次世代教育を目的に、清掃活動、小学校訪問等を実施いたしました。4月14日には、神戸地区にて生田川公園清掃を実施しました。今後もSDGsに沿った様々な課題解決に少しでも貢献できるよう活動を続けてまいります。

本件に関するお問合せ：CSR委員長 小野寺(03-6871-8218)



2023年4月14日 生田川清掃

H135向けサービス・ブリテン (SB) のキャンペーン

先日開催しましたカスタマー・フォーカス・グループ、カスタマー・シンポジウムでもご紹介させて頂きましたが、日頃のオペレーションにおいて特に重要な影響をもたらすと考えられるSBにつきまして、この度プロモーションキャンペーンとして特別価格を設定いたしましたので、以下の通りご案内申し上げます。

通常価格より50%～37%お値引させて頂いております。この機会に是非ともご検討の程宜しくお願い申し上げます。

ご質問等ございましたら、カスタマーサポート部担当者へお問い合わせください。

1. 対象SB

- ① EC135-21-51-0001 Rev.0 : Cooling Equipment - Replacement of the Compressor brushed drive motor by a brushless drive motor
- ② EC135-71-13-001 : Cowling - Improvement of the Heat protection
- ③ EC135-21-41-0001 : Heating Equipment - Installation of a new Bleed Air Mixing Valve and Control Box

2. 改善点

- ① AirComm Corporation (旧 Keith) 社製の電気式エアコンの Soft Start Unit 及び “Brushed” Compressor Drive Motor の修理・製造中止に伴い、“Brushless Compressor Drive Motor”を開発しました。“Brushless Compressor Drive Motor”では“ON-CONDITION”整備が導入され定期的なBrush点検が不要となります。また、Soft Start Unitの搭載も不要となり、消費電力は変更されず、重量は最大で1.7kg減少させることが出来ます。
- ② 新しいヒートプロテクションは従来型より広く後部エンジンカウリングをカバーし、高温の排気ガスに対する保護を強化します。
- ③ 改良型のBleed air mixing valveとTemperature control boxへ換装することにより信頼性向上を図ります。

3. 特別価格

AHJ プロモーション キャンペーン 2023

| SB番号 | 内 容 | 特別価格 (税別) |
|---------------------------|--|-------------|
| SB EC135-21-51-0001 Rev.0 | Cooling Equipment - Replacement of the Compressor brushed drive motor by a brushless drive motor | |
| SB-135-21-51-0001-MK1 | Kit 1 | ¥10,111,500 |
| SB-135-21-51-0001-MK2 | Kit 2 | ¥963,000 |
| SB-135-21-51-0001-MK3 | Kit 3 | ¥963,000 |
| SB EC135-71-13-0001 | Cowling - Improvement of the Heat protection | |
| SB-135-71-13-0001-MK1 | P-Versions | ¥1,001,000 |
| SB-135-71-13-0001-MK2 | T-Versions | ¥1,001,000 |
| SB EC135-21-41-0001 | Heating Equipment - Installation of a new Bleed Air Mixing Valve and Control Box | |
| SB-135-21-41-0001-MK1 | Kit 1 | ¥4,568,600 |
| SB-135-21-41-0001-MK2 | Kit 2 | ¥404,700 |
| SB-135-21-41-0001-MK3 | Kit 3 | ¥549,800 |

4. 備考

- 上記特別価格は2023年12月31日迄有効です。
- 上記価格はキャンペーンによる特別価格になります。
- 上記価格はSBのキット価格です。本SB実施に伴う、作業費、航空局等の調整費用は含まれていません。

中国のGDAT社がH160ヘリコプター50機を契約



フランスのマクロン大統領の中国訪問中、エアバス・ヘリコプターズは、中国で最も著名なヘリコプターのリース会社およびオペレーターの1つであるGDATと50機のH160の契約を締結しました。この契約は、2015年にヘリコプターが発表されて以来、民間および準公共市場におけるH160の単独受注としては最大のもので、同機は、石油・ガスプラットフォーム、風力発電所、水先案内などの海上輸送を含むエネルギー分野、救急医療サービスや自治体公共サービスミッションに使用される予定です。また、両社は、中国におけるH160の長期的な成功を確実にするため、サポートとサービスに関する戦略的協力協定を締結しました。

「GDATが現在のエアバス・ヘリコプターズ製ヘリコプター26機に50機のH160を追加し、フリートを強化する決定をしたことを光栄に思います。H160は、当初からマルチミッションヘリコプターとして設計されているため、多様なミッションを提供するGDATの要望に適しています」と、エアバス・ヘリコプターズのCEOであるBruno Evenは述べています。

GDATの会長であるPeter Jiangは、以下のように述べています。「この契約は、フランスと中国の経済・貿易協力の重要性を示す素晴らしい例です。革新的なH160は、当社のフリートに加わるのに最適で、21機のH225ヘリコプターから始まった中国市場でのサクセスストーリーを継続することができます。H160は、中国、特にエネルギー分野で大きな可能性を持っています」。

GDATは、ヘリコプターの販売とリース、メンテナンスと改造、緊急救助飛行などの政府サービスを専門とする、中国を代表する革新的なジェネラルアビエーション・サービスプロバイダーです。上海に本社を置き、中国全土に4つの完全子会社、蘇州と寧波に営業拠点、ロンドンに海外支店を有しています。

H160は、幅広いミッションに対応できるマルチミッションヘリコプターとして設計されており、エアバスの最新の革新技術が結集されています。騒音軽減効果のあるBlueEdgeブレードによる優れた快適性と、パイロットと乗客の双方にメリットをもたらす優れた外部視界を提供します。また、エンジンと機体で調和した整備計画によりH160は運用コストを最適化し、稼働率において新たな基準を提供します。H160はすでに、50%の持続可能な航空燃料(SAF)での飛行が承認されており、燃料消費を従来の15%削減するサフラン・ヘリコプター・エンジンズ社の最新型Arranoエンジン2基を搭載しています。

エアバス・ヘリコプターズは、50年以上にわたって中国のヘリコプター分野における重要なパートナーとして活躍しています。現在、中国国内では300機以上のエアバス製ヘリコプターが飛行し、90社以上の顧客にサービスを提供しています。

VSR700、フル稼働構成で海上テスト実施

エアバス・ヘリコプターズとフランス軍総局 (DGA) は、無人航空機システム (UAS) VSR700の海上での船舶からの運用可能構成で初めてテストを行いました。5月初旬、フランス西部のブルターニュ沖を巡航するヘリコプターデッキを備えた民間船から、VSR700は80回の完全自立離着陸を行いました。

エアバス・ヘリコプターズのVSR700プログラム責任者であるNicolas Delmasは、以下のように述べています。「この飛行試験キャンペーンは、VSR700プログラムにとって重要なステップであり、将来のミッションを代表するような運用条件において、VSR700の優れた性能を立証することができました。VSR700プロトタイプは、40ノット以上の風まで飛行可能範囲を広げ、14回の飛行で8時間のテストを行い、いくつかの異なる風浪階級で着陸を成功させました」。



2022年には、VSR700用に開発された自律離着陸 (ATOL) システムをOPV (有人操縦機としても使用可能な無人航空機) 化したギンバル・カブリG2に搭載し、同じ船からテストを行いました。今回の飛行試験キャンペーンはSDAM (フランス海軍向けの試験プログラム) のデモンストレーターと行われ、2017年にエアバス・ヘリコプターズとナバルグループが受注したSDAM研究の一環として、システムの能力を完全に立証しました。

自律離着陸機能はVSR700の重要な資産であり、エアバスのDeckFinderシステムを使用することで実現します。これによりGNSS/GPSを使わず、また視界条件に関係なく、過酷な条件下で、10~20cmの精度で無人航空機 (UAV) を自律的に発射・回収することができます。

この新しい試験キャンペーンは、2022年末と2023年初頭にルヴァン島 (南仏) のテストセンターでDGAとともに実施した2つのテストに続くものです。これらの試験中、SDAMプロトタイプ機は海上環境での運用能力を実証しました。機体の操縦性だけでなく、ナバルグループが開発したミッションシステムとともに、センサー類 (海上監視レーダー、電気光学センサー、AIS受信機) の能力もテストされました。

次の開発ステップでは、2機目のVSR700プロトタイプが初飛行を行い、今年後半にはフランス海軍のFREMMフリゲート艦に搭載して飛行試験を実施する予定です。

H160向けAnti-Collision LightのSTC、EASA認証取得

エアバス・ヘリコプター・ジャパンが開発したH160向けAnti-Collision Lightは日本のニーズに対応すべく、従来の赤色または白色のみ点滅可能な形態に加え、赤色と白色が交互に点滅できる機能を追加し、国土交通省航空局のSTC認証を取得しました。また、今後の海外での需要も見据え、2023年5月8日にEASA認証を取得しました。(EASA STC No. 10081857)

エアバス・ヘリコプター・ジャパンはアジアのエンジニアリングハブとして、最高レベルの整備能力、研究開発能力を有し、様々な装備品を自社にて開発しています。今後もエアバス・ヘリコプターズのネットワークを通じ、国内で開発された装備品を世界に展開する取り組みを強化して参ります。

HELISIM社 H160フルフライトシミュレーター (FFS) レベルD JCAB 認証を取得



フランス・マルセイユに施設を持つHELISIM社 H160 FFS EASAレベルD認証の訓練装置について、2023年4月10日国土交通省航空局においてもFFS レベルD認証を取得致しました。これにより、「回転翼航空機による模擬飛行装置のみを使用して行うことができる航空従事者技能証明の実地試験について」(国空航第3037号)の指定機材として使用することが可能となりました。なお、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン・トレーニングセンターではAH標準訓練と整合性を図るべくFFS訓練+FFS実地試験+最低3時間以上の実機訓練を標準シラバスとしてご提供しております。

2023年度設定訓練コース

2023年6月時点での訓練コース空き状況をご案内いたします。ご興味のあるコースがありましたらお問い合わせをお願いします。

(お申し込みには受講要件を満たしている必要がございます。また最少催行人数は2名となっておりますので、これを満たさない場合は訓練を実施しない場合がございます)

各コースとも、訓練開始までに空席がある場合、弊社社員が聴講生として参加する場合があります事をご了承お願いいたします。(座学の最大受講人数は8名を基本としております)

■ 操縦士訓練

| コース名 | | 期間(日程は変更となる場合がございます) | 受講要件 | 申込可能 | 備考 |
|----------|---------------------|---|------|------|------|
| AS365N3+ | 型式限定変更訓練 | 学科：2023年9月19日～9月29日予定 実機：別途ご相談 | A | ○ | (注1) |
| AS365N3+ | 型式内移行訓練 (N2→N3+) | 学科：2023年11月7日～11月10日予定 実機：別途ご相談 (1人当たり4.5時間) | A | ○ | (注1) |
| AS365N3 | 型式限定変更訓練 | 学科：2023年11月27日～12月7日予定 実機：別途ご相談 | A | ○ | (注1) |

受講要件:

A:有効な技能証明書と航空身体検査証明書および陸上多発タービン機の等級限定

(注1):座学訓練終了後、お客様基地でお客様保有の機体を使用した実機訓練が必要となりますが、日程は別途ご相談となります。

■整備士訓練

| コース名 | | 期間(日程は変更となる場合がございます) | 受講要件 | 申込可能 | 備考 |
|----------|---------------------|--|---------------|------|----------------|
| AS365N3 | オートパイロット学科 | 学科:2023年10月11日~10月13日予定 | B | ○ | AFCS 155D向けコース |
| H135 | ガイドライン訓練(T3/P3まで) | 学科:2023年9月予定 実技訓練:2023年9月予定 FFS試運転:1人当たり3回、2日想定、日程は別途ご相談 | A | ○ | (注1) |
| H135 | ガイドライン訓練(T3/P3まで) | 学科:2023年10月11日~10月20日予定 実技訓練:2023年10月23日~10月27日予定 FFS試運転:1人当たり3回、2日想定、日程は別途ご相談 | A | △ | (注1) |
| AS365N3+ | 一等航空整備士OEM訓練(座学+実技) | 学科:2024年1月9日~1月29日予定 実技訓練:2024年1月30日~2月2日予定 | C または D | △ | (注2) |

受講要件:

A:回転翼航空機ライセンス又は同等の知識(6ヶ月以上の整備経験を有する)

B:二等航空整備士(回)タービン機等級限定以上

C:二等航空整備士(回)タービン機等級限定以上を所有かつ一等航空整備士学科試験に合格、有効期間内である事

D:一等航空整備士(回)技能証明

(注1):座学訓練終了後、お客様基地でお客様保有の機体を使用した地上試運転を実施し、ガイドライン訓練として受講をご希望の場合は別途お問い合わせください。

(注2):座学訓練終了後、実地試験受験支援までの訓練などをご希望の場合は別途お問い合わせください。

(口述対策訓練、お客様保有の機体を使用した訓練等)

お問い合わせ先:カスタマーサポート部 西岡(hisao.nishioka@airbus.com)

または各CSM(カスタマーサポートマネージャー)まで。



1. 安全推進活動

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンは、安全運航の確保に貢献すべく、引き続き関連省庁と連携した各種取り組みに積極的に参画しています。

また、航空安全ロードショー等(安全文化の醸成/ヒューマンファクターズ訓練/コンサルティング)を開催し、安全文化の醸成活動を推進しています。(右図参照)

航空安全ロードショー等の開催については、お客様のご要望等をお聞きしながら、計画及び開催をさせていただきます。

航空安全ロードショー等の開催実績(2023年5月末現在)

| 実施年 | N:初回開催 R:繰り返し開催 A/C:各協会や各都市開催等 W:Web会議 (回) | 参加者数 (延べ人数) |
|-----------|--|----------------|
| 2016~2023 | 125 N:49, R:26, A/C:23, W:27 | 2937 |

2. ヘリコプターの安全情報 (SAFETY PROMOTION NOTICE シリーズ)

エアバス・ヘリコプターズは、EASA Community Networkのメンバーとして安全推進活動を展開しており、過去に経験した事故やインシデント等に基づいた重要な教訓・安全情報等が、EASA Community Networkサイトの「[Safety-Topics A-Z](#)」にて紹介されています。

今回は、飛行安全の基盤である「[Pre-Flight Risk Assessment](#)」と「[Post-Flight Debrief](#)」について紹介をさせていただきます。

1. Pre-Flight Risk Assessment (飛行前リスク評価)について

私たちは安全を守るために懸命に働いており、安全に飛行するためには、トレーニング、経験、チェックリスト、計画に加え、それらの基盤である安全に対する考えと姿勢が重要です。

その中で、飛行前リスク評価は、安全管理者や安全の専門家だけが行うものではなく、すべてのパイロットにとって重要な任務であり、気象情報、客室の準備、乗客への説明、潜在的なリスクへの理解等も含まれており、飛行が正しい方法で開始され、十分に安全であることを保証するために重要です。

また、飛行前に一度立ち止り、「飛行安全に対して積極的・かつ事前対策的なアプローチが出来ているか?」を自問することで、飛行開始前に適切な心構えを得ることができます。

例えば、飛行中、予期せず視界の悪い状況になった場合は、迅速に多くの決定を下さなければならず、飛行前の計画とリスク評価(飛行前チェックリスト)を確実に実施しておくことで、うまく対処でき安全を確保することができます。

1) Pre-Flight Risk Assessment ツールの紹介

下記のツールを使うことで、運航形態に応じた飛行計画やリスク評価をすることができます。

- 欧州ヘリコプター安全チームの出発前計画チェックリスト

<https://www.easa.europa.eu/en/document-library/general-publications/ehest-pre-flight-planning-checklist>

- [Safety Apps](#)

エアバス ヘリコプターズ社のアプリケーション(Before Your Flight)

Before Your Flight (日本語版選択可能)
[iOS](#)、または [Android](#) デバイスにてダウンロード可(無料)

2) 飛行計画中に検討及び管理できる危険例

(飛行条件: 夜間/これまで上空から見たことのない領域/最低条件に近いVFR)

飛行前に、安全優先の姿勢でそれぞれの状況に対処できるよう準備していますか?

それぞれ個別の事象は簡単に対処できるような小さな問題でも、同時発生によりはるかに予想を超えた大きな問題となり危険になる可能性があります。

- 飛行前のリスク評価で検討可能な安全緩和策例

最低条件に近いVFRに関して

- ・ ルート上で考えられるすべての着陸場所の確認
- ・ 必要な総ての航法図を準備し、ルート沿いの障害物の確認
- ・ 利用可能な電子地図と装置の準備(移動地図、運航管理システム、EGPWS等)
- ・ IFR 格付けとIFRの最新性の確認
- ・ IFR 方式への変更(利用可能な空港への進入手順の確認)
- ・ 離陸前にすべての通信およびナビゲーション周波数の設定

夜間飛行に関して

- ・近代的な照明による目標物の確認(都市、町、交通量の多い高速道路や道路等)
- ・NVIS(Nigh Vision Imaging System)の使用検討(利用可能/トレーニング受講等)
- ・客室照明を減らす

これまで上空から見たことのない領域に関して

- ・必要なすべて航法図の準備とルート沿いの障害物の確認
- ・関連する総ての目標物の調査
- ・利用可能な電子地図と装置の準備(移動地図、運航管理システム、EGPWS等)

2. Post-Flight Debrief (飛行後ブリーフィング)について

飛行後のデブリーフィングは、飛行スキル、意思決定、コミュニケーション、航法、燃料管理、リスク管理、脅威およびエラー管理などに対する認知及び対応能力を開発・維持するための良い方法であり、パイロットの安全性や熟練度の大幅な向上につながります。

ここでは、「なぜそれが重要なのか?」、「何を報告するのか?」、「能力評価と改善」について纏めます。

なぜそれが重要なのか?

次のような内容について振り返ること、またそれらを他の人と共有することが重要です。

- 飛行(計画と実績)について
- 飛行中の体験(発生した問題や緊急事態等)
- 自分の能力、上手くできたこと、満足していることや誇りに思っていること等
- フライトレコーダーの活用(適切な報告、また潜在的な問題検出に有効)
- 着陸直後の実施(フライトをより正確に思い出すことが可能)

何を報告するか?

- 飛行計画(行動の指針)と実飛行の比較(飛行計画からの変更点)
- 自問する内容
 - ・このフライトで何を学んだか?
 - ・何か新しいことに気づきましたか?
 - ・以前のフライトとの相違点は?
 - ・飛行中はどれくらい快適だったか?
 - ・プレッシャーやストレスはあったか?
 - ・リスクを冒したか?
 - ・何か間違いが発生したか? また、何がそれを妨げたか?
 - ・適切な行動をとったか?
 - ・状況をコントロールできていたか?
 - ・次のフライトでより良くできることは何か?

能力評価と改善

- 技術的な問題や発生事象から、それぞれの能力評価やエラーが特定され、次の飛行計画で改善できます。
- チェックリストの活用は、重要な検証内容やアクションの明確化、他の方法では発見が難しいエラーの防止(検出、修正)に有効です。

【参考資料】 EHEST HE2 ヘリコプターエアマンシップ
(EHEST : EUROPEAN HELICOPTER SAFETY TEAM)
http://www.helijapan.org/pdf/JHST/HE2_Japanese.pdf

これらの貴重な情報が、皆さんのヘリコプターの安全飛行に寄与することを願っております。

各種取り組みや安全情報等のご依頼やご質問等がございましたら、担当者までご連絡お願い致します。

担当者：エクスターナル・セーフティ・オフィサー：竹内(078-306-4476)



ご意見募集中

Newsletterに関する皆様のご意見をぜひお聞かせください。良かった記事、悪かった記事、今後のご要望など何でもけっこうです。以下のアドレスまで(または受信されたメールに「返信」にて)お送りください。ご意見お待ちしております。

information.ahj@airbus.com 編集担当者宛